株式会社秀和システム様向け

仕様書の基本と仕組みシステム

内部設計書  
マスターデータ入力部

第1.0版

|  |  |
| --- | --- |
| 版数 | 1.0 |
| 承認者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |
| 作成者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |

改版履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 改版概要 | 改版日 | 改版者 |
| 1.0 | 新規作成 |  | 増田智明 |

目次

[1. はじめに 1](#_Toc331677398)

[2. 概要 2](#_Toc331677399)

[3. 内部設計 3](#_Toc331677400)

[1.1. 顧客データ画面処理 3](#_Toc331677401)

[1.1.1. 顧客データ入力処理 3](#_Toc331677402)

[1.1.2. 顧客データ更新処理 3](#_Toc331677403)

[1.1.3. 顧客データ検索処理 3](#_Toc331677404)

[1.1.4. 顧客データ削除処理 3](#_Toc331677405)

# はじめに

内部設計書のまえがきを書く。

先行する外部設計書や、参照する内部設計書を列記する。

# 概要

本内部設計書の概要を記述する。

# 内部設計

外部設計に従い、各画面の内部動作を細かく記述する。

コーディングを外注する場合は、処理単位にクラスや関数名などを明確にするとよい。

## 顧客データ画面処理

### 顧客データ入力処理

### 顧客データ更新処理

### 顧客データ検索処理

### 顧客データ削除処理

外部設計書を基に内部設計を進める際、最近の傾向として詳細設計や内部設計を省略する方針が見られます。特に自分でコーディングする場合、この部分を省略し、重要な設計の考え方や決定事項をコード内のコメントとして残すことが有効です。この方法により、設計の意図や特定の実装選択の理由が、コードを読む人に直接伝わります。また、将来的なメンテナンスや機能の更新時にも、このコメントが役立つガイドとなります。しかし、プロジェクトの規模やチームの構成によっては、内部設計を詳細に文書化することが依然として重要な場合もあります。適切なアプローチはプロジェクトの特性やチームのニーズに応じて柔軟に選択されるべきです。